



## 2019年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月8日

上場会社名 株式会社 自重堂

上場取引所 東

コード番号 3597 URL <https://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出原 正信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部本部長 (氏名) 谷口 郁志

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第1四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	4,346	23.5	544	21.0	625	6.3	439	9.3
2018年6月期第1四半期	3,520	3.3	449	4.1	668	106.4	484	83.8

(注) 包括利益 2019年6月期第1四半期 418百万円 (27.6%) 2018年6月期第1四半期 577百万円 (43.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	152.41	
2018年6月期第1四半期	167.92	

当社は、2018年1月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第1四半期	35,763	30,799	86.1	10,682.79
2018年6月期	37,642	31,246	83.0	10,837.66

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 30,799百万円 2018年6月期 31,246百万円

当社は、2018年1月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		300.00	300.00
2019年6月期					
2019年6月期(予想)		0.00		300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	8.2	1,500	1.9	1,500	1.9	1,025	19.3	355.52
通期	18,500	6.6	3,000	3.3	3,000	5.2	2,050	7.9	711.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期1Q	3,230,701 株	2018年6月期	3,230,701 株
期末自己株式数	2019年6月期1Q	347,571 株	2018年6月期	347,571 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期1Q	2,883,130 株	2018年6月期1Q	2,883,632 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益と雇用環境の改善を背景として緩やかな景気回復が続いておりますが、米国と中国の貿易摩擦の激化による世界経済への不安から、企業収益をはじめ景気動向の先行きは一層不透明感が増しております。我々アパレル業界、ワーキング業界においても、製品調達コストや物流コストが上昇する一方で、個人消費は選別消費が続いており、当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、ワーキング事業においては、世界戦略ブランド「Z-DRAGON（ジードラゴン）」において、新たに俳優の市原隼人氏をイメージキャラクターに起用し、ブランド知名度の向上を図るとともに、次世代戦略ブランド「Jawin（ジャウィン）」のイメージキャラクターである新庄剛志氏とあわせ、積極的に広告宣伝活動を行い、両ブランドを軸に、新商品開発による需要の喚起と合わせ売上の拡大に取り組んでまいりました。フットウェア分野においては、個人需要だけでなく、法人需要の受注拡大に取組み、デザイン性、機能性を重視しながらも価格訴求力のある商品の開発を強化してまいりました。医療用白衣・介護ウェアの分野においては、医療・福祉関係の展示会に積極的に出展し、医療用白衣・介護ウェアブランドである「WHISel（ホワイセル）」の知名度向上に努めるとともに、新規取引先の開拓と既存取引先との取組強化に努めてまいりました。メンズカジュアル事業においては、流通ルートの多元化を進めるとともに、事業構造の転換を進め、売上・利益の回復を図ってまいりました。

生産面におきましては、原材料の納期遅れや、中国における環境規制強化の影響などにより、製品の納期遅延が発生しましたが、生産キャパの拡大や納期管理体制の強化など、生産管理体制の再構築とシステム化を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、「Z-DRAGON（ジードラゴン）」ブランドの販売が好調に推移したことや、前連結会計年度において子会社化した株式会社ライオン屋の業績が寄与したことなどにより、売上高は4,346百万円（前年同四半期比23.5%増）と前年同四半期を大きく上回る結果となりました。営業利益については、売上高の増加により、544百万円（前年同四半期比21.0%増）となりました。経常利益は、有価証券売却益が減少したことなどにより、625百万円（前年同四半期比6.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は439百万円（前年同四半期比9.3%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,878百万円減少し、35,763百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,837百万円減少し、25,373百万円となりました。これは主に、商品及び製品が976百万円、流動資産その他が202百万円増加したことと、現金及び預金が1,935百万円、受取手形及び売掛金が552百万円、原材料及び貯蔵品が533百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、10,389百万円となりました。これは主に、関係会社出資金が131百万円増加したことと、繰延税金資産が157百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,279百万円減少し、3,617百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,192百万円、未払法人税等が128百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ152百万円減少し、1,346百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が147百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ446百万円減少し、30,799百万円となりました。これは主に、利益剰余金が425百万円減少したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における業績の進捗を踏まえ、2018年8月9日発表の、2019年6月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,410,435	5,475,059
受取手形及び売掛金	5,417,942	4,865,861
商品及び製品	9,649,899	10,626,765
仕掛品	8,063	3,882
原材料及び貯蔵品	3,872,618	3,339,169
その他	865,312	1,067,931
貸倒引当金	△12,642	△4,819
流動資産合計	27,211,629	25,373,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,660,165	1,634,740
土地	4,089,148	4,129,013
その他(純額)	158,125	152,905
有形固定資産合計	5,907,439	5,916,658
無形固定資産		
無形固定資産	167,415	159,094
投資その他の資産		
投資有価証券	3,087,016	3,058,939
関係会社出資金	—	131,440
繰延税金資産	164,073	7,015
その他	1,150,266	1,164,257
貸倒引当金	△45,633	△47,543
投資その他の資産合計	4,355,722	4,314,108
固定資産合計	10,430,576	10,389,862
資産合計	37,642,206	35,763,712

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,004,727	2,811,956
未払金	184,612	190,306
未払法人税等	316,535	187,637
返品調整引当金	60,441	52,482
賞与引当金	128,415	78,424
その他	202,021	296,262
流動負債合計	4,896,753	3,617,069
固定負債		
退職給付に係る負債	589,308	593,844
繰延税金負債	209,790	61,836
その他	699,978	691,077
固定負債合計	1,499,077	1,346,759
負債合計	6,395,831	4,963,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,828,530	1,828,530
利益剰余金	26,905,280	26,479,755
自己株式	△1,716,197	△1,716,197
株主資本合計	30,000,111	29,574,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,236,830	1,217,459
退職給付に係る調整累計額	9,432	7,837
その他の包括利益累計額合計	1,246,263	1,225,296
純資産合計	31,246,375	30,799,883
負債純資産合計	37,642,206	35,763,712

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年7月1日 至 2017年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年7月1日 至 2018年9月30日）
売上高	3,520,471	4,346,672
売上原価	2,313,198	2,960,284
売上総利益	1,207,273	1,386,388
販売費及び一般管理費	757,522	842,155
営業利益	449,750	544,233
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,009	2,835
為替差益	22,550	2,458
デリバティブ評価益	92,797	64,599
有価証券売却益	85,365	—
受取賃貸料	16,259	15,864
その他	7,597	5,087
営業外収益合計	227,579	90,844
営業外費用		
賃貸収入原価	9,171	8,923
その他	100	341
営業外費用合計	9,271	9,265
経常利益	668,058	625,812
税金等調整前四半期純利益	668,058	625,812
法人税、住民税及び事業税	105,287	167,947
法人税等調整額	78,553	18,450
法人税等合計	183,840	186,398
四半期純利益	484,218	439,414
親会社株主に帰属する四半期純利益	484,218	439,414

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	484,218	439,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,833	△19,371
退職給付に係る調整額	△1,440	△1,595
その他の包括利益合計	93,392	△20,966
四半期包括利益	577,610	418,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	577,610	418,447



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第1四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。